



2024年3月期 第3四半期決算説明

2024年2月8日



目次

連結業績サマリー

第3四半期決算ハイライト

通期業績予想

＜参考＞ DATA FILE

2024年3月期
第3四半期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

(単位：百万円)

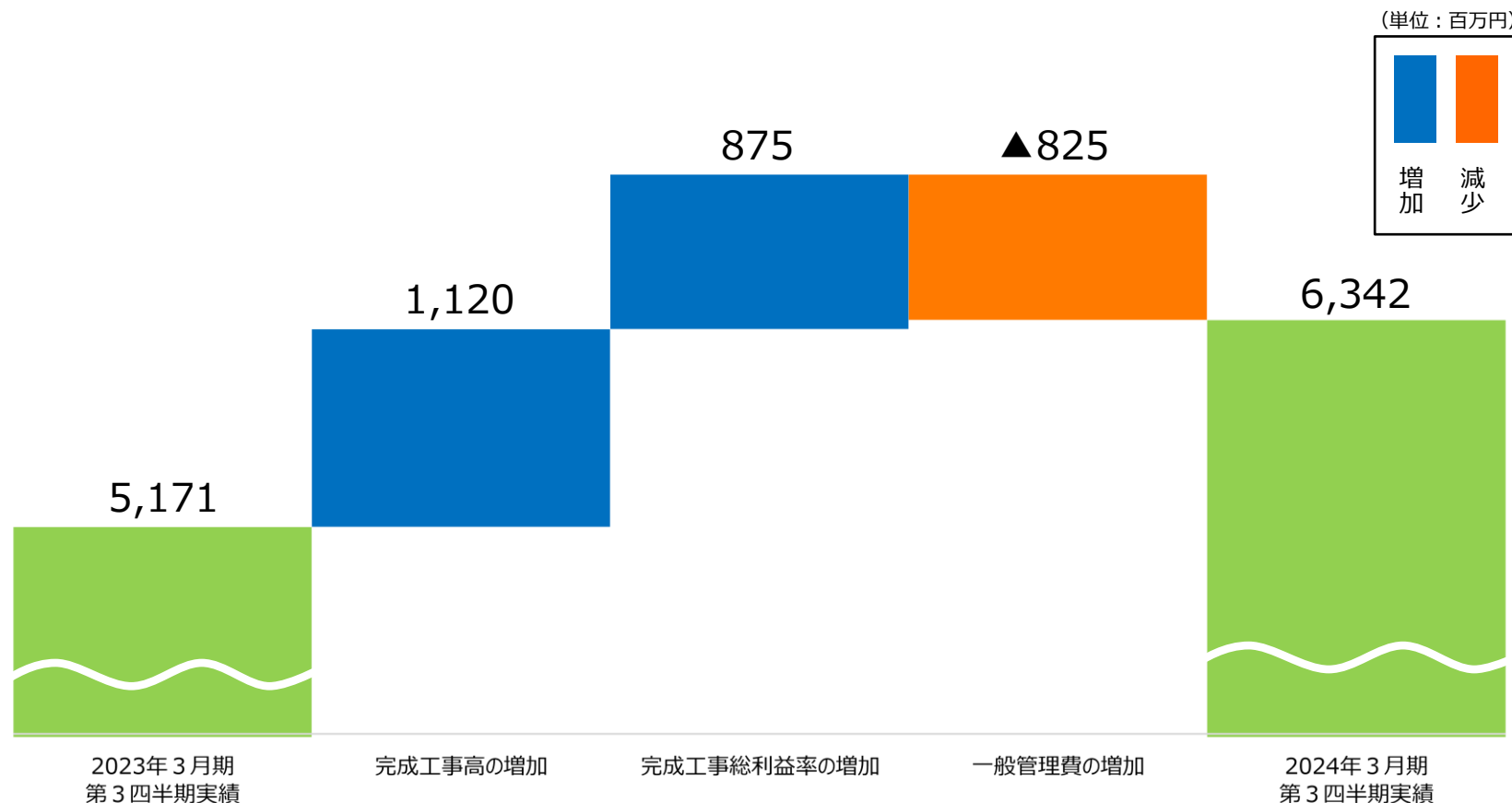
	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	163,782	184,158	20,375	12.4%
受注工事高	165,583	214,448	48,864	29.5%
完成工事高	130,088	139,504	9,415	7.2%
完成工事総利益	15,476	17,472	1,995	12.9%
完成工事総利益率(%)	11.9%	12.5%	0.6p	—
営業利益	5,171	6,342	1,171	22.7%
営業利益率(%)	4.0%	4.5%	0.6p	—
経常利益	5,851	6,882	1,030	17.6%
経常利益率(%)	4.5%	4.9%	0.4p	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,999	5,115	1,116	27.9%
四半期利益率(%)	3.1%	3.7%	0.6p	—

事業環境及び当社の概要

採算重視の受注活動により、以下の通りとなりました。

- 受注工事高は、大型の半導体工場、車載用電池工場の受注により、前期と比べ大幅に増加しました。
- 大型一般工事を中心とした受注施策により確保した繰越工事が順調に進捗した結果、完成工事高は増加しました。
- 完成工事高の増加及び価格交渉による資材価格・人件費の転嫁等の利益改善により、完成工事総利益率が上昇した結果、完成工事利益が増加し、営業利益も増益となりました。

連結営業利益増加の内訳



- 完成工事高は、前期からの豊富な繰越工事が順調に進捗したことにより、大幅に増加しました。
- 完成工事総利益率は前ページの通り、利益改善が進んだことにより、増加しました。
- 一般管理費は「現場業務効率化・事務作業効率化等をはじめとするDX投資」、「新規事業や施工効率化のための研究開発費及び減価償却費」、「近年の業容拡大に伴う事業活動費」の費用により、増加しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減	増減率
受注工事高	電気工事	24,212	32,438	8,226	34.0%
	管工事	141,370	182,009	40,638	28.7%
	合計	165,583	214,448	48,864	29.5%
完成工事高	電気工事	21,921	21,860	▲ 60	▲0.3%
	管工事	108,167	117,643	9,475	8.8%
	合計	130,088	139,504	9,415	7.2%
繰越工事高	電気工事	25,753	29,902	4,149	16.1%
	管工事	173,522	229,199	55,676	32.1%
	合計	199,276	259,102	59,825	30.0%

- 受注工事高は、産業施設の受注により電気工事も増加し、全体でも前期と比べ大幅に増加しました。
- 完成工事高は、産業施設や空港などの大型工事及び海外のリゾート施設の熱源工事が順調に進捗したことにより、増加しました。
- 繰越工事高は、前期からの繰越額及び産業施設、医療関連施設、再開発などの大型工事の受注により、増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

(単位：百万円)

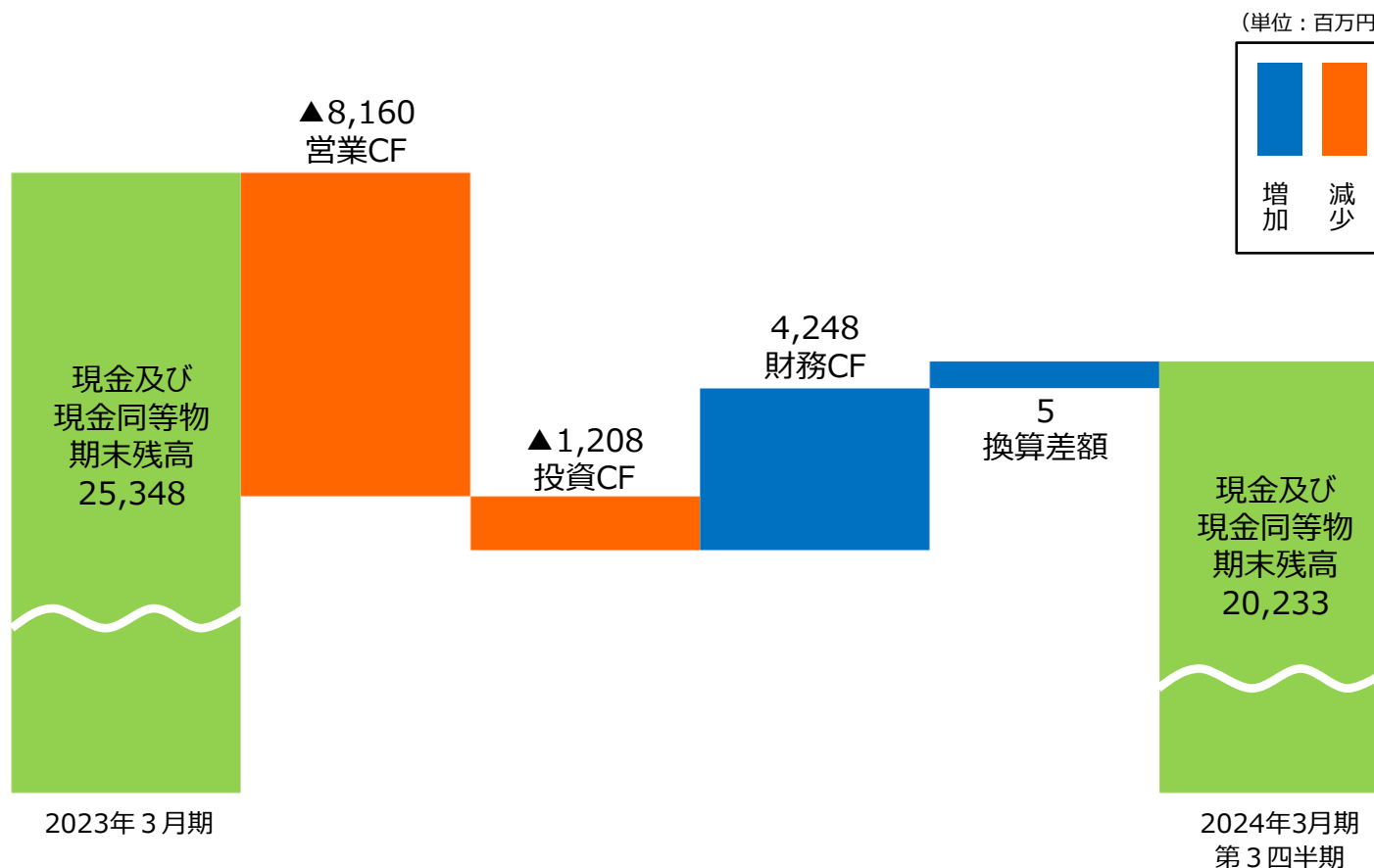
	2023年3月期	2024年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	82,424	86,440	4,015	4.9%	利益剰余金の増加、投資有価証券評価差額金の増加
総資産	148,544	150,353	1,809	1.2%	工事の進捗に伴う債権・債務の計上
1株当たり純資産 (BPS)	※1,920.67円	※2,011.71円	91.04円	4.7%	※(参考)2023年 3月 株価終値：1,184円 2023年12月 株価終値：1,425円 ※10月1日付で行いました株式分割後の 株価を記載しております。
株価純資産倍率 (PBR)	0.62倍	0.71倍	－	－	
自己資本比率	55.4%	57.3%	2.0p	－	－

連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	4,325	▲8,160	▲12,485	－	工事原価の支払いの先行
投資活動によるCF	▲850	▲1,208	▲358	－	新潟支店の建替、オフサイト施設の建設
財務活動によるCF	▲2,240	4,248	6,489	－	短期借入金の借入れ
現金及び現金同等物の期首残高	16,037	25,348	9,310	58.1%	－
現金及び現金同等物の増減額	1,462	▲5,115	▲6,577	－	－
現金及び現金同等物 四半期末残高	17,500	20,233	2,733	15.6%	－

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）



- キャッシュフローの内訳は、営業CF（工事原価の支払いの先行）、投資CF（新潟支店の建替、オフサイト施設の建設）、財務CF（大型工事の進捗に伴い原価支払が先行していることを受け、運転資金として短期借入を実施）それぞれの要因により、増減しております。
- 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しております。

2024年3月期
第3四半期決算

第3四半期決算 ハイライト

リニューアル・直接・官庁工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期	前年同期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
リニューアル工事	66,240	17,451	83,691	62,820	▲3,419	▲5.2%
リニューアル比率(%)	40.0%	42.8%	40.6%	29.3%	▲10.7p	-
大規模・中規模の改修工事	31,913	7,105	39,018	29,068	▲2,844	▲8.9%
小規模の改修工事	34,327	10,345	44,673	33,752	▲574	▲1.7%
一般工事	99,342	23,303	122,646	151,627	52,284	52.6%
受注工事高合計	165,583	40,754	206,337	214,448	48,864	29.5%
うち、直接受注	70,540	19,753	90,293	98,637	28,097	39.8%
直接比率(%)	42.6%	48.5%	43.8%	46.0%	3.4p	-
うち、官庁工事	15,296	4,534	19,830	23,131	7,835	51.2%
官庁比率(%)	9.2%	11.1%	9.6%	10.8%	1.5p	-

- リニューアル工事は、受注拡大に向け、一般工事の受注に注力したことにより、減少しました。
- 一般工事は、産業施設案件受注を中心に大幅に増加しました。
- 直接受注は、大型の半導体工場の受注により、大幅に増加しました。
- 官庁工事は、大型案件の受注により大幅に増加しました。

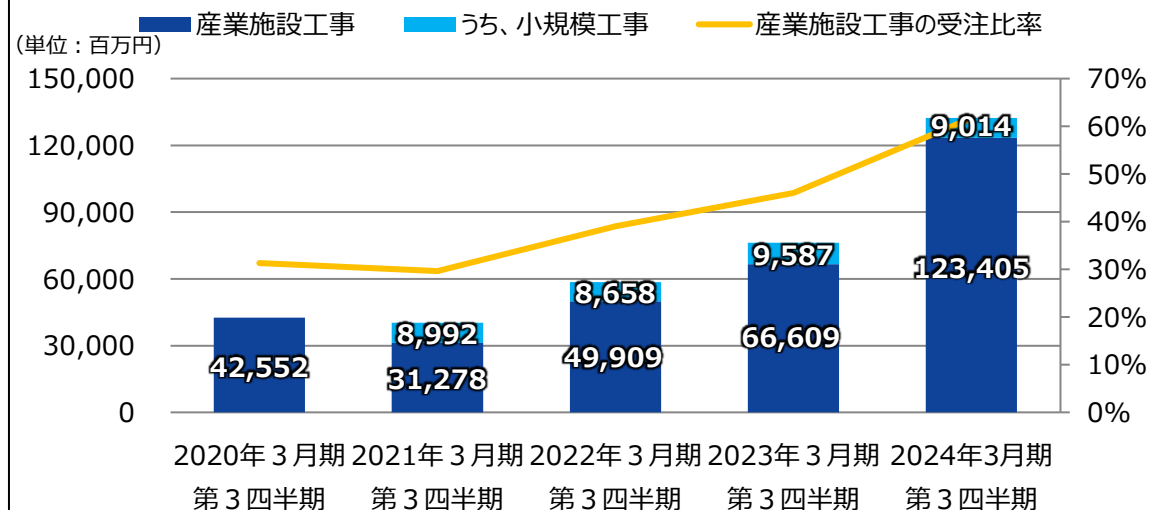
産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期	前期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
産業施設工事合計	76,196	14,984	91,181	132,418	56,222	73.8%
(受注比率%)	46.0%	36.8%	44.2%	61.7%	15.7p	—
受注工事高合計	165,583	40,754	206,337	214,448	48,864	29.5%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。

産業施設工事の受注工事高の推移



- 第3四半期に大型の半導体工場、車載用電池工場の受注により、産業施設工事の受注が大幅に拡大しました。これにより、目標としていた受注工事高全体に占める割合50%を大幅に上回り、現時点で60%を超えました。

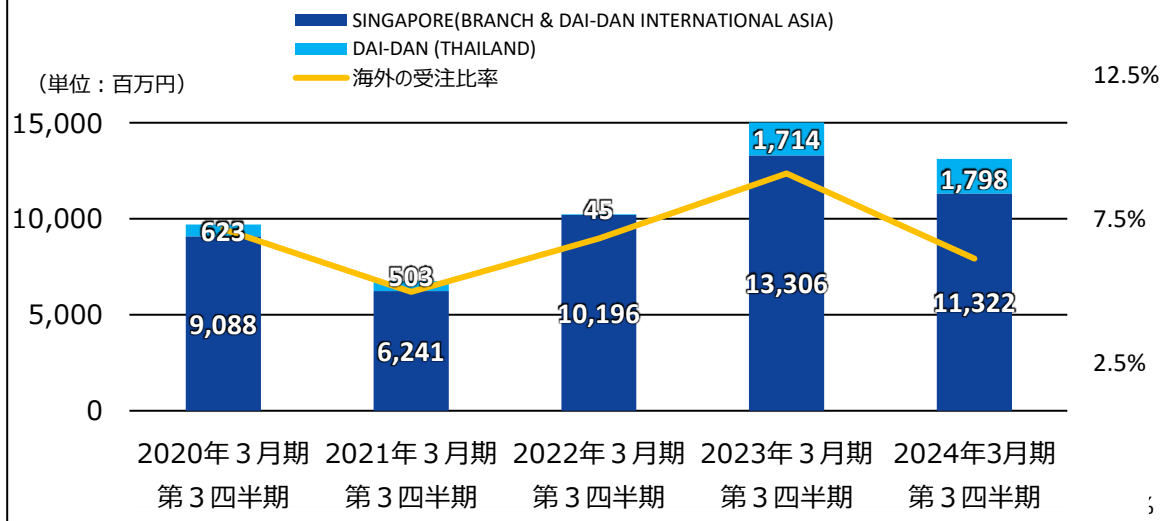
海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、及びDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.）、タイ（DAI-DAN (THAILAND) Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN (VIETNAM) Co.,LTD.（非連結））及び台湾（台湾大暖股份有限公司（非連結））を拠点に活動しています。
- 2023年2月にはシンガポールのPresico社(Presico Engineering Pte.Ltd.)の株式の40%を取得し、同社を持分法適用関連会社としております。

（単位：百万円）

	2023年3月期			2024年3月期	前期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	15,020	5,370	20,390	13,120	▲1,899	▲12.6%
（受注比率%）	9.1%	13.2%	9.9%	6.1%	▲3.0p	－
受注工事高合計	165,583	40,754	206,337	214,448	48,864	29.5%

海外の受注工事高の推移(連結)

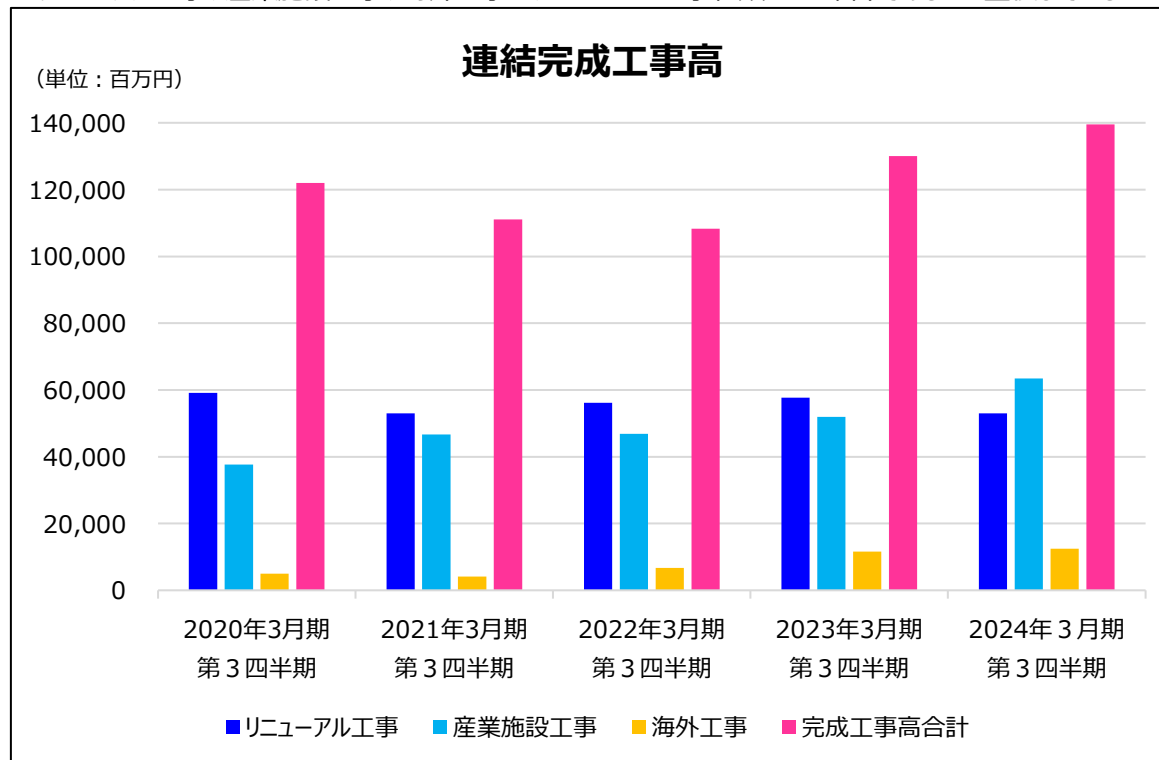


- シンガポールは、第2四半期から受注がずれ込んだ大型プロジェクトが、第3四半期に受注できたため、大型プロジェクト受注が好調であった前期の85%まで積みあがりました。
- タイは、昨年同様工場の受注が好調で前期と同程度の受注高となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	130,088	100.0%	139,504	100.0%	9,415	7.2%
うち (リニューアル工事)	57,717	44.4%	52,980	38.0%	▲4,736	▲8.2%
(産業施設工事)	51,928	39.9%	63,487	45.5%	11,558	22.3%
(海外工事)	11,602	8.9%	12,464	8.9%	862	7.4%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- リニューアル工事は、一般工事の受注が拡大した結果、減少しました。
- 産業施設工事は、主に工場やデータセンターの大型工事が進捗したことにより、増加しました。
- 上記のほかにも再開発案件の進捗により、全体でも増加しました。

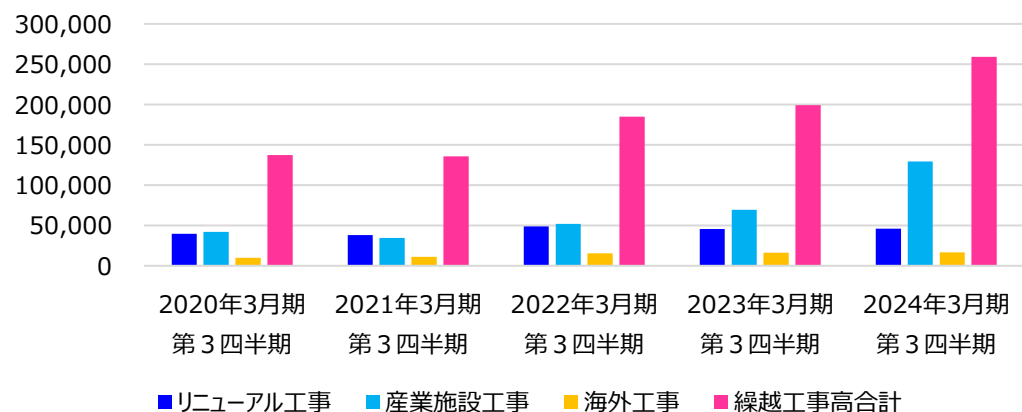
(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	163,782	—	184,158	—	20,375	12.4%
受注工事高	165,583	—	214,448	—	48,864	29.5%
完成工事高	130,088	—	139,504	—	9,415	7.2%
繰越工事高	199,276	100.0%	259,102	100.0%	59,825	30.0%
うち (リニューアル工事)	45,419	22.8%	46,142	17.8%	722	1.6%
(産業施設工事)	69,528	34.9%	129,499	50.0%	59,970	86.3%
(海外工事)	16,257	8.2%	16,652	6.4%	395	2.4%
うち当期第4四半期 完成予定	47,345	—	51,247	—	3,902	8.2%
うち来期以降完成予定	151,931	—	207,855	—	55,924	36.8%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

(単位：百万円)

連結繰越工事高



- 当期の繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回り、前期と比べ増加しました。
- 産業施設工事や医療関連施設などの大規模案件を中心に、今後の出来高に寄与する手持ち工事を豊富に抱えております。
- 物価上昇による資機材価格及び人件費高騰の影響が、この1年において受注請負額に転嫁される動きが高まってきました。

(単位：百万円)

		2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	66,712	67,005	292	0.4%
	7～9月	58,253	61,518	3,265	5.6%
	10～12月	40,617	85,924	45,307	111.5%
	4～12月	165,583	214,448	48,864	29.5%
完成工事高	4～6月	35,342	40,731	5,389	15.2%
	7～9月	47,348	50,574	3,226	6.8%
	10～12月	47,398	48,197	799	1.7%
	4～12月	130,088	139,504	9,415	7.2%
営業利益	4～6月	818	691	▲126	▲15.5%
	7～9月	2,832	2,340	▲492	▲17.4%
	10～12月	1,521	3,311	1,790	117.8%
	4～12月	5,171	6,342	1,171	22.7%

- 10月～12月の業績につきましては、大型の半導体工場、車載用電池工場の受注により、受注工事高は前期比で倍増となりました。産業施設や再開発案件等の工事が順調に進捗したことにより、完成工事高は増加しました。また採算重視の受注活動により、利益も前期比で大幅に増加しました。

2024年3月期
第3四半期決算

2024年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			前期対比 通期		
	第1～3四半期	第4四半期	通期	通期 (前回予想)	第1～3四半期	第4四半期 (予想)	通期 (今回予想)	増減	増減率
受注工事高	165,583	40,754	206,337	240,000	214,448	25,552	240,000	33,663	16.3%
完成工事高	130,088	55,873	185,961	200,000	139,504	55,496	195,000	9,039	4.9%
完成工事総利益	15,476	7,148	22,624	24,400	17,472	7,228	24,700	2,076	9.2%
完成工事総利益率(%)	11.9%	12.8%	12.2%	12.2%	12.5%	13.0%	12.7%	0.5p	－
営業利益	5,171	3,257	8,428	8,500	6,342	2,658	9,000	572	6.8%
営業利益率(%)	4.0%	5.8%	4.5%	4.3%	4.5%	4.8%	4.6%	0.1p	－
経常利益	5,851	3,437	9,288	8,900	6,882	2,518	9,400	112	1.2%
経常利益率(%)	4.5%	6.2%	5.0%	4.5%	4.9%	4.5%	4.8%	▲ 0.2p	－
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,999	2,627	6,626	6,500	5,115	1,985	7,100	474	7.1%
当期純利益率(%)	3.1%	4.7%	3.6%	3.3%	3.7%	3.6%	3.6%	0.1p	－
自己資本当期純利益率 (ROE)	－	－	8.3%	7.7%	－	－	8.4%	0.1p	－

業績予想の前提

- 完成工事高は、当期の出来高に寄与する工事が期初の計画よりも進捗しなかったことなどを受け、5,000百万円減の195,000百万円となる見通しです。一方、完成工事総利益は、前期からの繰越工事の利益改善が当初の見込みよりも好調に推移したことなどを受け、300百万円増の24,700百万円となる見通しです。
- 営業利益は、完成工事総利益の増加及び経費削減を受け、直近の公表から500百万円増の9,000百万円となる見通しです。
- 受注工事高は、直近の公表から変更はありません。

配当予想について

- 2024年3月期の期末配当予想につきましては、下記、株主還元に対する方針に従い、今後の業績動向を踏まえ適切な時期に決定する予定であり、決定次第、速やかにお知らせいたします。

	年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率
	第2四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	45.00	45.00	90.00	1,935	33.3%	2.5%
2023年3月期	45.00	55.00	100.00	2,150	32.3%	2.7%
2024年3月期 (予想) (株式分割前換算)	55.00	30.00 (60.00)	– (115.00)	–	34.7%	–

株主還元に対する方針

- 利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めております。
- 株主への更なる利益還元を進めるため、2024年3月期より配当性向35%以上を新たな配当方針としております。

自己株式取得について

- 株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

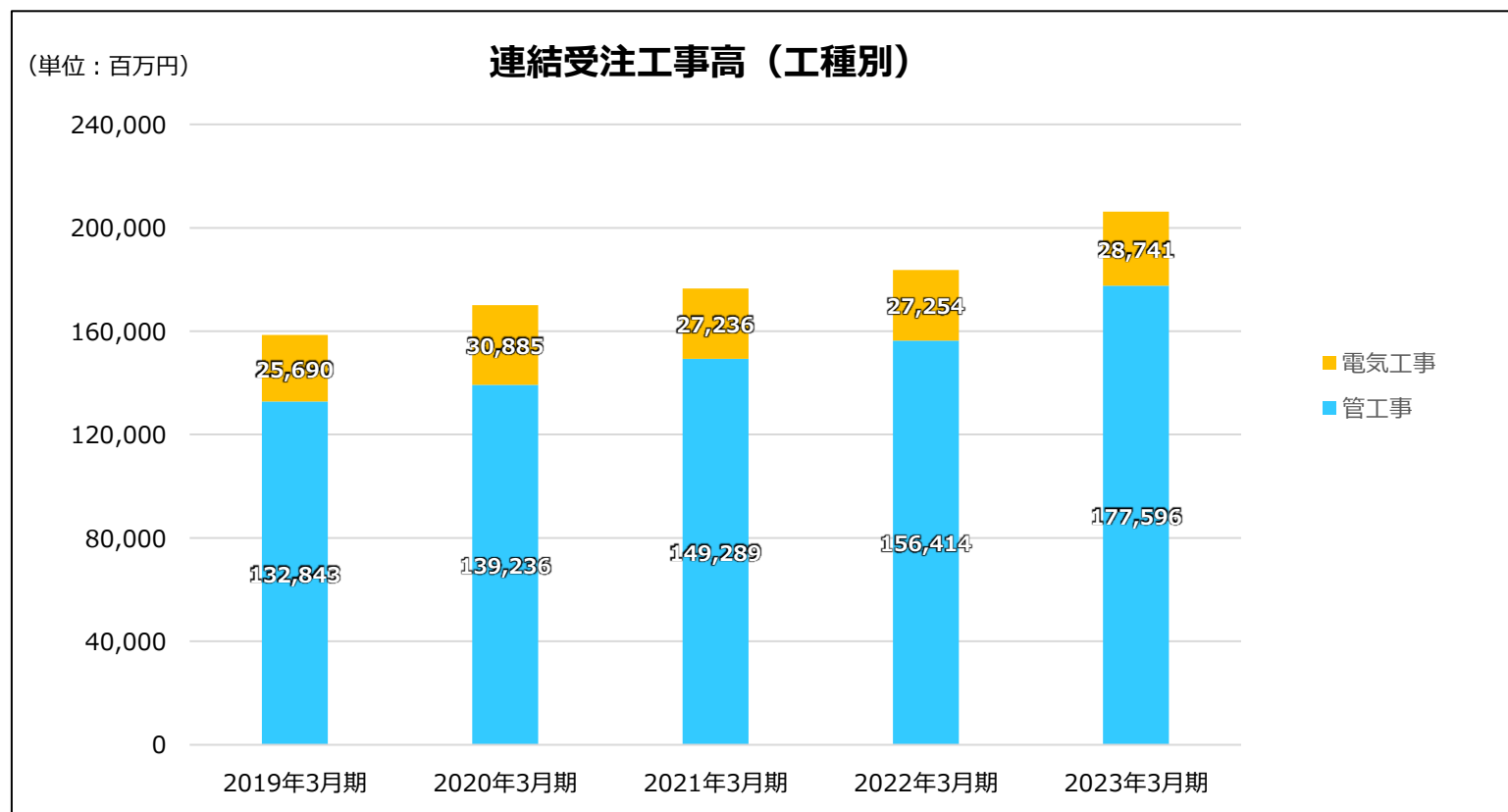


<参考>
DATA FILE
〔通期〕

連結受注工事高（工種別）〔通期〕

(単位：百万円)

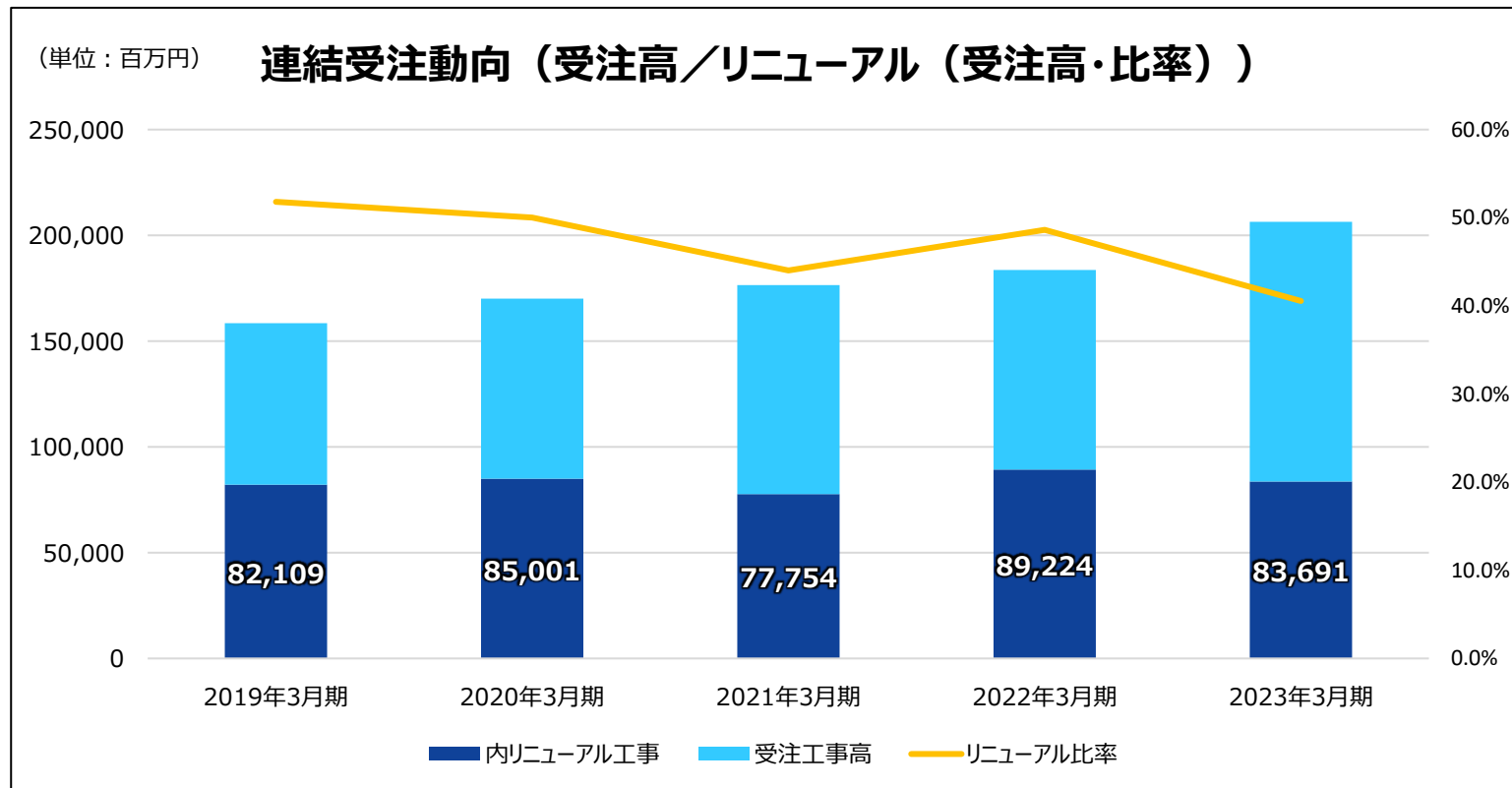
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気工事	25,690	30,885	27,236	27,254	28,741
管工事	132,843	139,236	149,289	156,414	177,596
合計	158,533	170,121	176,526	183,668	206,337



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

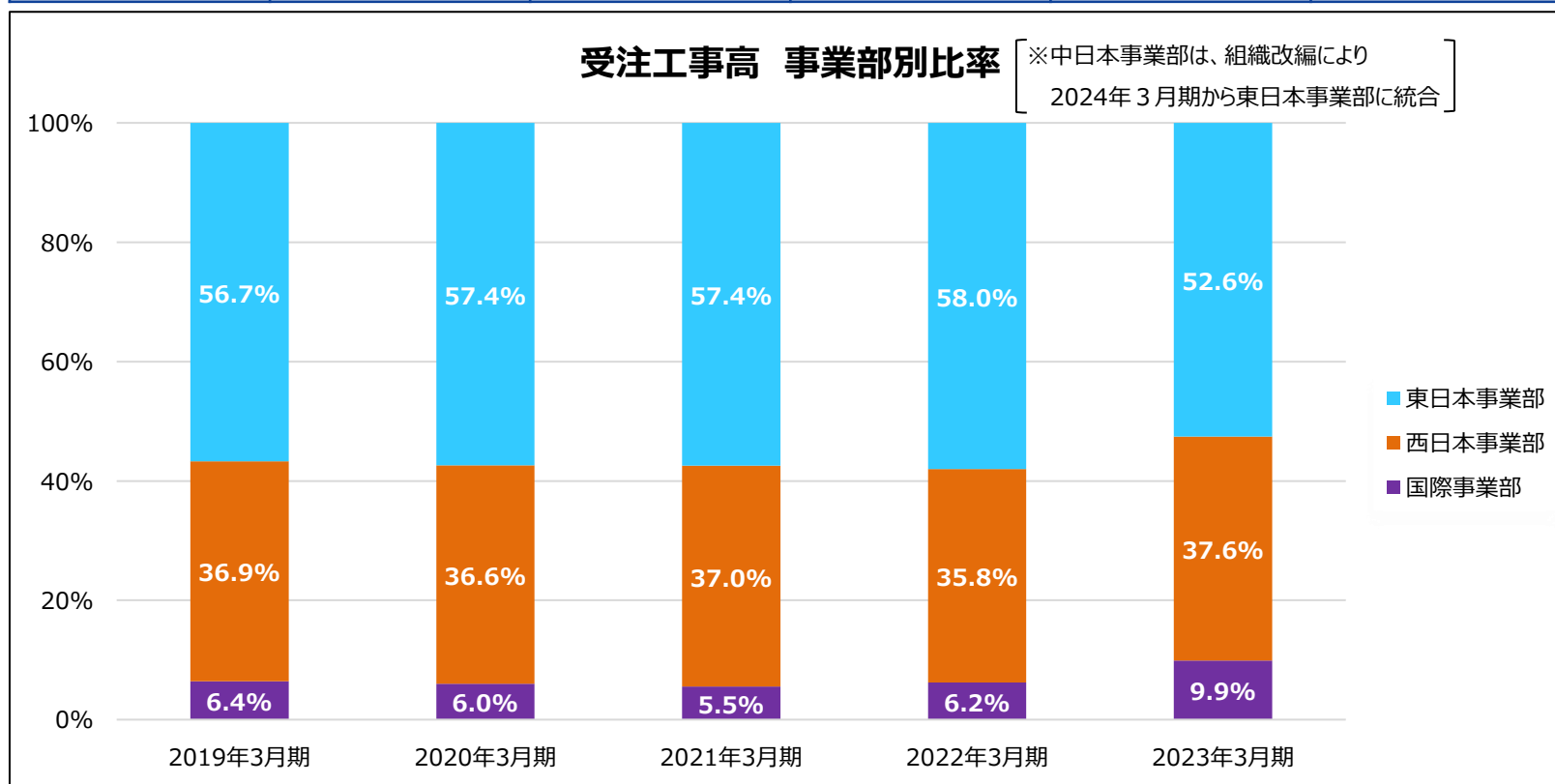
(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
受注工事高	158,533	170,121	176,526	183,668	206,337
リニューアル工事	82,109	85,001	77,754	89,224	83,691
リニューアル比率	51.8%	50.0%	44.0%	48.6%	40.6%



受注工事高比率

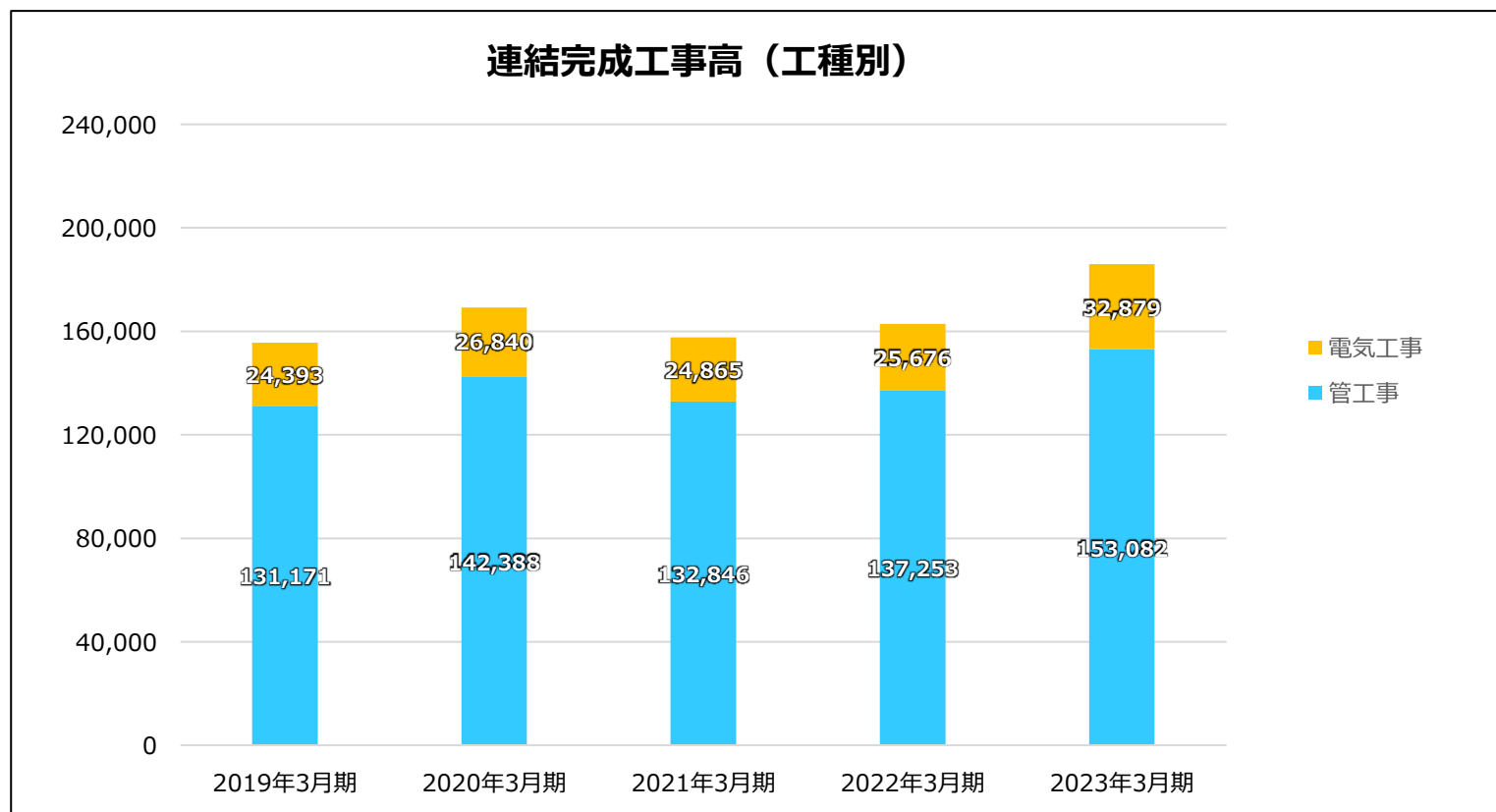
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
東日本事業部	56.7%	57.4%	57.4%	58.0%	52.6%
西日本事業部	36.9%	36.6%	37.0%	35.8%	37.6%
国際事業部	6.4%	6.0%	5.5%	6.2%	9.9%



連結完成工事高（工種別）〔通期〕

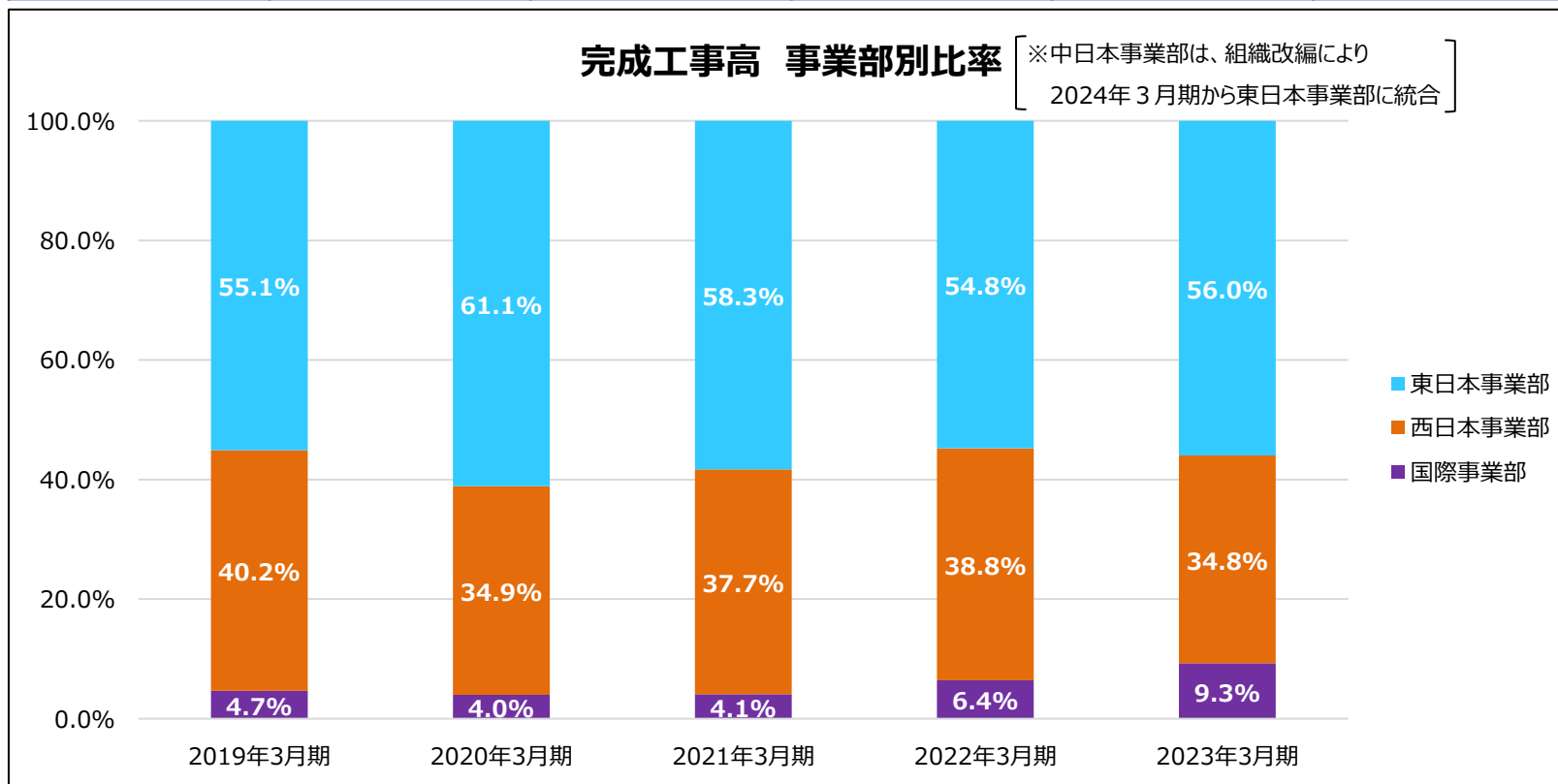
(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気工事	24,393	26,840	24,865	25,676	32,879
管工事	131,171	142,388	132,846	137,253	153,082
合計	155,565	169,229	157,712	162,929	185,961



完成工事高比率

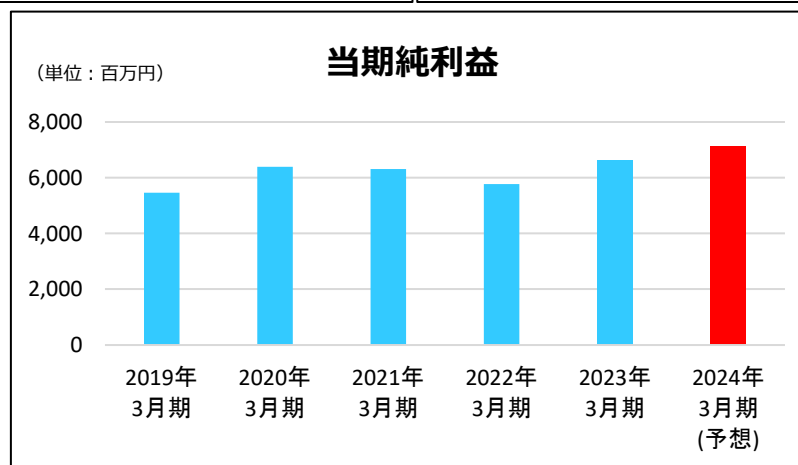
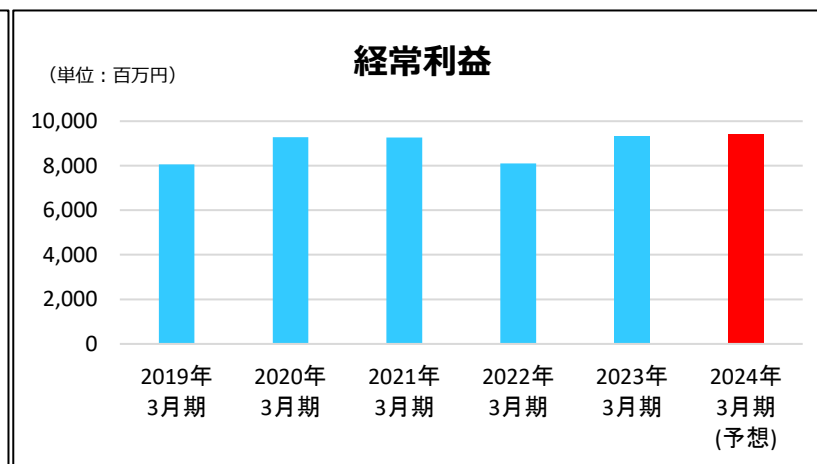
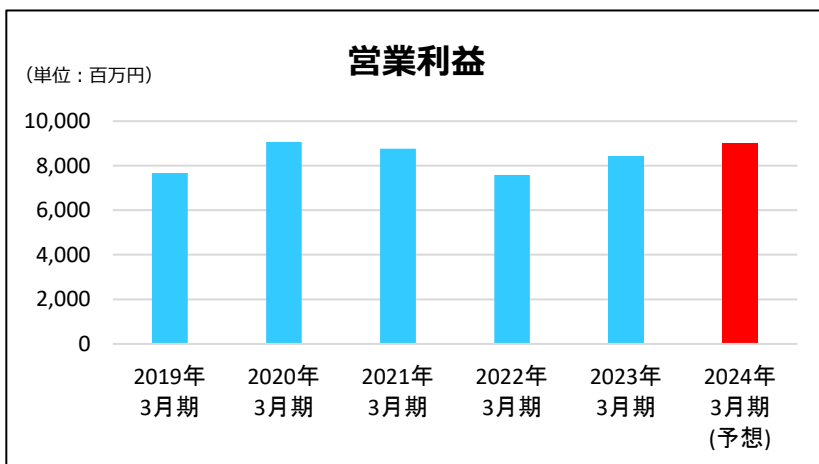
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
東日本事業部	55.1%	61.1%	58.3%	54.8%	56.0%
西日本事業部	40.2%	34.9%	37.7%	38.8%	34.8%
国際事業部	4.7%	4.0%	4.1%	6.4%	9.3%



連結業績利益（営業／経常／当期）〔通期〕

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
営業利益	7,661	9,063	8,754	7,584	8,428	9,000
経常利益	8,057	9,282	9,262	8,095	9,288	9,400
当期純利益	5,464	6,399	6,318	5,778	6,626	7,100



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10